



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月10日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 牧 光弥 TEL 03-3989-5972
 四半期報告書提出予定日 2019年7月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	112,328	5.5	10,354	△22.3	9,603	△28.6	6,594	△30.9
2019年2月期第1四半期	106,521	9.7	13,319	12.2	13,449	16.7	9,542	21.7

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 7,700百万円 (△30.5%) 2019年2月期第1四半期 11,085百万円 (82.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	251.01	250.52
2019年2月期第1四半期	363.66	362.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第1四半期	286,290	197,850	67.5	7,359.67
2019年2月期	258,309	195,189	73.8	7,258.30

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 193,380百万円 2019年2月期 190,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	191.00	—	196.00	387.00
2020年2月期	—				
2020年2月期（予想）		182.00	—	182.00	364.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	223,000	10.8	23,800	1.0	23,900	1.6	15,600	△13.8	593.85
通期	462,000	12.8	48,500	8.4	48,700	6.2	31,800	△6.0	1,210.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名 ー）、除外 ー社（社名 ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は【添付資料】P.8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」
をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	28,078,000株	2019年2月期	28,078,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	1,802,278株	2019年2月期	1,808,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	26,272,079株	2019年2月期1Q	26,241,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、2019年1-3月期の実質GDP成長率が0.6%（年率換算2.2%）となり、2四半期連続のプラス成長となりました。設備投資が改善された一方で、個人消費は前期比マイナスと内需が伸び悩んでおり、力強さが欠けています。

世界経済は、米国の通商政策による貿易摩擦の激化、イギリスのEU離脱問題など不安定な国際情勢などから、先行きの不透明感が高まりました。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良い暮らし」を実現する企業”として、『ムダをなくす』『天然資源の保全』『安心・安全』『絆を大切に作る』『温暖化への配慮』をテーマに、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	1,123億28百万円（前年同期比 5.5%増）
売上高	1,121億24百万円（前年同期比 5.5%増）
営業利益	103億54百万円（前年同期比 22.3%減）
経常利益	96億3百万円（前年同期比 28.6%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	65億94百万円（前年同期比 30.9%減）

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、IDEE店舗等の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は716億97百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は78億31百万円（同11.8%減）と増収減益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の国内事業店舗数は、473店舗（前期末差15店舗増）となりました。

衣服・雑貨では、「フレンチリネン」シリーズが紳士服を中心に売上が堅調でした。また、「肩の負担を軽くするリュックサック」や「疲れにくい撥水スニーカー」が引き続き好調に推移いたしました。

生活雑貨では、タオルやスリッパなどのファブリックス及び収納家具の「やわらかポリエチレン」シリーズが好調に推移いたしました。

食品では、カレーキャンペーンを行った「バターチキンカレー」などのレトルト食品、「発酵ぬかどこ」及び冷凍食品が売上が大きく伸ばしました。

セグメント利益については物流費、人件費等が増加した結果、減益となりました。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は308億21百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は33億42百万円（同24.0%減）と増収減益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の東アジア事業店舗数は、379店舗（前期末差4店舗増）となりました。

中国では1月に杭州に旗艦店を開店したこと等により売上が増加いたしました。台湾では、売込みを行った「肩の負担を軽くするリュックサック」が好調に推移いたしました。韓国においては生活雑貨を中心に売上が伸び悩みました。

③ 欧米事業

欧米事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は58億80百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント損失は10億円（前年同期は2億73百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の欧米事業店舗数は、68店舗（前期末差1店舗増）となりました。

欧州においては、衣服・雑貨中心に売上は伸びましたが、積極的に宣伝活動を行ったこと等により経費が膨らみました。米国においては、新店のオープンによる経費の先行等により厳しい状況が続いています。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第1四半期連結累計期間の営業収益は39億29百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益は23百万円(同57.4%減)と増収減益になりました。

当第1四半期連結会計期間末の西南アジア・オセアニア事業店舗数は、75店舗(前期末同様)となりました。マレーシアでは衣服・雑貨を中心に好調に推移いたしました。また、オーストラリアにおいては新店が売上増加に貢献いたしました。シンガポールにおいては、生活雑貨の売上が低調でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は2,862億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ279億81百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少111億3百万円、受取手形及び売掛金の増加19億55百万円、商品の増加75億62百万円、建物及び構築物(純額)の増加33億75百万円及び使用権資産の増加226億34百万円によるものです。

負債は884億40百万円となり、253億19百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加60億66百万円、流動負債及び固定負債のリース債務の増加235億65百万円及び未払法人税等の減少51億43百万円によるものです。

純資産は1,978億50百万円となり、26億61百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加13億64百万円及び為替換算調整勘定の増加8億15百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の73.8%から67.5%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月10日付「2019年2月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,444	44,340
受取手形及び売掛金	8,920	10,875
商品	88,004	95,567
仕掛品	202	317
貯蔵品	59	70
未収入金	10,663	12,319
その他	4,231	5,947
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	167,522	169,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,752	59,195
減価償却累計額	△24,331	△25,398
建物及び構築物(純額)	30,421	33,797
機械装置及び運搬具	4,461	4,552
減価償却累計額	△2,246	△2,350
機械装置及び運搬具(純額)	2,214	2,201
工具、器具及び備品	22,223	23,774
減価償却累計額	△13,261	△13,932
工具、器具及び備品(純額)	8,961	9,841
土地	1,907	1,907
リース資産	88	89
減価償却累計額	△20	△22
リース資産(純額)	68	66
使用権資産	—	23,936
減価償却累計額	—	△1,302
使用権資産(純額)	—	22,634
建設仮勘定	2,592	832
有形固定資産合計	46,167	71,281
無形固定資産		
のれん	4,237	4,018
その他	12,242	14,499
無形固定資産合計	16,479	18,518
投資その他の資産		
投資有価証券	4,422	4,015
繰延税金資産	1,454	1,469
敷金及び保証金	18,653	17,953
その他	3,735	3,740
貸倒引当金	△125	△124
投資その他の資産合計	28,140	27,055
固定資産合計	90,787	116,855
資産合計	258,309	286,290

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,724	21,747
短期借入金	825	6,891
1年内返済予定の長期借入金	397	—
未払金	8,770	7,866
未払費用	5,185	6,598
未払法人税等	11,166	6,022
リース債務	7	5,425
賞与引当金	1,439	1,083
役員賞与引当金	74	20
返品調整引当金	46	—
ポイント引当金	67	120
その他	4,867	4,100
流動負債合計	53,574	59,877
固定負債		
長期借入金	557	949
繰延税金負債	3,496	4,386
リース債務	60	18,208
役員退職慰労引当金	39	36
その他	5,391	4,980
固定負債合計	9,546	28,562
負債合計	63,120	88,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,826	10,838
利益剰余金	186,364	187,728
自己株式	△14,780	△14,619
株主資本合計	189,177	190,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,885	1,593
繰延ヘッジ損益	568	1,218
為替換算調整勘定	△961	△145
その他の包括利益累計額合計	1,492	2,665
新株予約権	390	479
非支配株主持分	4,128	3,990
純資産合計	195,189	197,850
負債純資産合計	258,309	286,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	106,307	112,124
売上原価	52,996	55,920
売上総利益	53,311	56,203
営業収入	213	204
営業総利益	53,525	56,408
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,593	1,961
配送及び運搬費	4,549	5,729
従業員給料及び賞与	11,649	13,169
役員賞与引当金繰入額	20	△1
借地借家料	10,046	9,604
減価償却費	2,318	3,942
ポイント引当金繰入額	19	53
その他	10,008	11,595
販売費及び一般管理費合計	40,206	46,053
営業利益	13,319	10,354
営業外収益		
受取利息	135	145
受取配当金	58	2
貸倒引当金戻入額	1	—
持分法による投資利益	8	15
その他	118	194
営業外収益合計	322	358
営業外費用		
支払利息	5	182
為替差損	172	910
その他	13	16
営業外費用合計	191	1,109
経常利益	13,449	9,603
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	29	45
特別損失合計	29	45
税金等調整前四半期純利益	13,420	9,558
法人税等	3,885	3,044
四半期純利益	9,534	6,513
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,542	6,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	9,534	6,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,254	△292
繰延ヘッジ損益	1,582	650
為替換算調整勘定	△2,263	830
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△1
その他の包括利益合計	1,551	1,187
四半期包括利益	11,085	7,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,246	7,767
非支配株主に係る四半期包括利益	△160	△67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の海外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、IAS第17号におけるオペレーティング・リース(借手)については適用開始日に使用権資産及びリース債務を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用いたしました。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表上、使用権資産(純額)として22,634百万円が計上され、流動負債及び固定負債のリース債務にそれぞれ5,417百万円、18,149百万円が含まれております。また、利益剰余金が63百万円減少しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	68,830	29,156	4,968	3,565	106,521	0	-	106,521
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	-	-	-	-	-	4,641	△4,641	-
計	68,830	29,156	4,968	3,565	106,521	4,642	△4,641	106,521
セグメント利益 又は損失(△)	8,882	4,399	△273	55	13,064	132	122	13,319

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額122百万円にはセグメント間取引消去84百万円、棚卸資産の未実現利益消去37百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	71,697	30,821	5,880	3,929	112,328	0	—	112,328
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	0	—	—	—	0	6,338	△6,338	—
計	71,697	30,821	5,880	3,929	112,328	6,338	△6,338	112,328
セグメント利益 又は損失(△)	7,831	3,342	△1,000	23	10,196	155	2	10,354

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額2百万円にはセグメント間取引消去△51百万円、棚卸資産の未実現利益消去53百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。